

1. 学校の概要、目標及び計画

(1) 設置者・学校名・学校長名・所在地・設置認可年月日

- 設置者：学校法人国際総合学園
- 学校名：JAPAN サッカーカレッジ
- 学校長：中村 勉
- 所在地：新潟県北蒲原郡聖籠町大字網代浜 925 番地 2 Tel 0254 (32) 5357
- 設置認可年月日：平成 14 年 1 月 9 日

(2) 理事（役員）名簿

- <https://www.cupsnet.com/pdf/officerlist.pdf>

(3) 目標及び計画

■ 校訓

C hallenge (挑戦する)

U nderstand (理解する)

P rogress (進歩する)

S ystem／S tep (システム／羽ばたく)

■ 教育目標

サッカーという素晴らしいスポーツを通しての人間力形成という大目標を掲げ、地域に根付いた学校・チームを目指し、サッカー界での即戦力を育てるための技能の育成と知識の習得に重点を置き、より実践的な現場実習等を数多く取り入れ、このために必要な講師・設備・教育環境等を最大限整備し、日々の教育を推進する。

■ 学校教育方針

- 一. 礼儀・礼節
- 一. モチベーション教育（実践行動学）
- 一. 清潔・美化・エコ活動
- 一. 地域貢献・社会性
- 一. 集団行動
- 一. 奉仕の心
- 一. 国際理解

■ 建学の精神

サッカーというスポーツを通し、日本のサッカー界・スポーツ界の発展と国際社会・地域社会の発展に寄与する人材を育成する。

2. 各学科等の教育

■ サッカー専攻科（3年制／男子）<https://cupsnet.com/about/course/soccer>

アルビレックス新潟のアマチュア育成組織として、天皇杯本大会出場を目指すほか、全国社会人サッカー選手権大会、北信越フットボールリーグを勝ち抜き、全国地域サッカーチャンピオンズリーグ出場およびJFL昇格を目指し、より高いステージで自分自身をアピールすることができる。学内では4つのカテゴリ一体制で活動し、レベル別少人数編成により全ての選手が公式戦に出場できる可能性がある。それぞれのチームにおいて日本サッカー協会公認指導者ライセンス所有者がコーチを務めるため、きめ細かな指導を受けることができる。在学中の取得可能資格は、日本サッカー協会公認C級コーチ／日本サッカー協会公認キッズリーダー／日本サッカー協会公認2級審判員／日本サッカー協会3級審判員／日本サッカー協会公認4級審判員／Word／Excel／Power Point／ビジネス能力など。

■ サッカー研究科（1年制／男子・女子）

サッカー研究としては、北信越フットボールリーグ（男子／女子）、天皇杯（男子）、皇后杯（女子）、全国社会人サッカー選手権大会（男子）など、全国で戦うチームにて大舞台を経験することができる。また、Jリーグクラブとのトレーニングマッチや、2部練習などサッカーに集中した環境で強化し、全国で戦えるプレイヤー育成を目指す。また、コーチ研究としては、アルビレックス新潟スクールやJAPANサッカーカレッジなどにアシスタントコーチとして派遣し、相手チームの分析、データ管理、技術戦術理解など指導者として不可欠となる分析方法などを身につけながら実際の現場で実戦する。トレーナー研究としては、外部チームにトレーナーとして派遣し、より高いレベルで選手個々に適したトレーニングプログラムを作成、実施することで効果的なノウハウを身につける。

■ 女子サッカー専攻科（2年制／女子）

トレーニングのほかに戦術理論やスポーツ栄養学など、競技に直結する授業も実施する。トレーニングや公式戦にはマネージャーやトレーナーも帯同するため、より集中した環境でサッカーに取り組むことができる。また、管理栄養士による食事の管理やセキュリティ一万全の寮など生活面からもサポートする。現在は北信越フットボールリーグに所属しており、なでしこチャレンジリーグ昇格、皇后杯出場を目指しトレーニングを積む。在学中に指導者ライセンス取得も可能であり、選手育成のほか育成指導者の人材輩出も目指す。在学中の取得可能資格は、日本サッカー協会公認C級コーチ／日本サッカー協会公認キッズリーダー／日本サッカー協会公認2級審判員／日本サッカー協会3級審判員／日本サッカー協会公認4級審判員／赤十字救急法救急員／Word／Excel／Power Point／ビジネス実務マナーなど。

■ マネージャー・トレーナー科（2年制／男子・女子）<https://cupsnet.com/about/course/manager>

用具管理、スパイク管理、選手のスケジュール管理、ユニフォーム管理などチーム活動を円滑に進めるために幅広い業務を行っていく。特にJ3クラブやJFLクラブなどのチームは、トレーナーやフロントを兼務するなど様々な能力が求められるため、マルチなマネージャーとしてサッカー界で活躍できる人材育成を目指す。スピードや正確さなど実践経験が最重要視される業界であり、効率的に即戦力スキルを磨くためサッカー専攻科や女子サッカー専攻科／研究科、さらには男女ともにインターハイ・全国選手権大会に出場経験のある強豪、開志学園JSC高等部（JAPANサッカーカレッジ高等部）のチームに帯同し、年間を通じて選手・チームをサポートし経験を積む。在学中の取得可能資格は、JAFT認定スポーツシューフィッター／日本サッカー協会公認C級コーチ／日本サッカー協会公認キッズリーダー／日本サッカー協会3級審判員／日本サッカー協会公認4級審判員／赤十字救急法救急員／Word／Excel／Power Pointなど。

■ サッカートレーナー専攻科（3年制／男子・女子）<https://cupsnet.com/about/course/trainer>

Jリーグのトレーナーは一般的に、フィジカルコーチ、鍼灸師、アスレティックトレーナーが存在する。膨大な勉強量が必要となる難関資格をいきなり目指すわけではなく、入学してから方向性を決められるバランス型カリキュラムを実現している。即戦力としてのスキルを磨くため、サッカー専攻科や女子サッカー専攻科のチームに帯同し、年間を通じて選手をサポートするほか、トレーニングやリハビリを担当するなど豊富な実習量を積むことができる。NSG カレッジリーグの1つである国際メディカル専門学校鍼灸学科（夜間部）を受験し合格した者に対しては、「鍼灸ダブルスクールコース」の選択が可能となる。在学中の取得可能資格は、SAQ レベル1インストラクター／NSCA-CPT／JATI／日本サッカー協会公認 C 級コーチ／赤十字救急法救急員／ACCA 認定スポーツ栄養スペシャリスト／初級パラスポーツ指導員／レクリエーション・インストラクター／はり師・きゅう師（Wスクールコース選択の場合）／社会人常識マナー／Word／Excel／PowerPoint など。

■ フィジカルトレーナー科（2年制／男子・女子）<https://cupsnet.com/about/course/physical>

選手の身体を強化するフィジカルトレーニングの専門知識とサッカーのトレーニング指導経験を身につけ、サッカー業界への就職を目指す。JFA フィジカルフィットネスライセンスは、世界で活躍できるフィジカルフィットネス（パフォーマンス向上につながる体力的側面）を持った選手を育成できる指導者を養成するための資格であり、サッカー選手のフィジカルトレーニングを計画・実行するための知識の習得と、学内外のチームにシーズンを通じてフィジカルコーチとして帯同する現場実習を通じて、在学中にフィジカルフィットネス C 級コーチの取得を目指す。在学中の取得可能資格は、日本サッカー協会公認フィジカルフィットネス C 級コーチ／SAQ レベル1インストラクター／NSCA-CPT／JATI／日本サッカー協会公認 C 級コーチ／赤十字救急法救急員／ACCA 認定スポーツ栄養スペシャリスト／初級パラスポーツ指導員／レクリエーション・インストラクター／社会人常識マナー／Word／Excel／PowerPoint など。

■ コーチ・審判専攻科（2年制／男子・女子）<https://cupsnet.com/about/course/coach>

指導者養成インストラクターによる指導や、プロの現場へのインターンシップにより、ライセンスを取得し、即戦力となるコーチ・レフェリーの育成を目指す。JAPAN サッカーカレッジには日本サッカー協会公認インストラクターが常駐しているため、日本サッカー協会公認 C 級コーチ講習会を校内で開催することができる。サッカー専攻科や女子サッカー専攻科／研究科、さらには男女ともにインターハイ・全国選手権大会に出場経験のある強豪 開志学園 JSC 高等部（JAPAN サッカーカレッジ高等部）のチームに帯同し、男女・社会人・高校生と性別や年齢に応じたコーチング方法を多くの指導者より直接学ぶことができる。また、レフェリー育成においては、在学中に2級審判員取得を目指す。ライセンス取得に直結したカリキュラムにより、2級・3級合わせて毎年多くの資格取得者を輩出しており、また、アルビレックス新潟のトレーニングマッチや都道府県リーグや高円宮杯など数々の試合に審判員として派遣する。在学中の取得可能資格は、日本サッカー協会公認 C 級コーチ／日本サッカー協会公認キッズリーダー／日本サッカー協会公認 2級審判員／日本サッカー協会公認 3級審判員／日本サッカー協会公認スポーツマネージャーGRADE2（選択制）／赤十字救急法救急員（選択制）／Word／Excel／PowerPoint など。

■ サッカーコーチ研究科（4年制／男子・女子）<https://cupsnet.com/about/course/coach>

1・2年次で基礎を完全に身につけ、3・4年次は現場実習・インターンシップがメインとなるカリキュラムを構築している。サッカー協会、Jクラブとの強い連携を活かし、アシスタントコーチとして外部チームに帯同し経験を積む。日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチのアシスタントや、北信越トレセ

ンや日本サッカー協会公認 B 級コーチ養成講習会などに参加するなど、サッカー協会関係の仕事も経験することができ、トップレベルの指導法について学ぶことができる。4 年制学科となるため、卒業と同時に「高度専門士」を取得することができ、大学院への進学も可能となる。より専門的に学ぶことのできるチャンスも広がり、そこから教員免許取得も可能となってくる。在学中の取得可能資格は、日本サッカー協会公認 C 級コーチ／日本サッカー協会公認キッズリーダー／日本サッカー協会公認 2 級審判員／日本サッカー協会公認 3 級審判員／日本サッカー協会公認スポーツマネージャーGRADE2（選択制）／赤十字救急法救急員（選択制）／Word／Excel／PowerPoint／高度専門士など。

■ サッカービジネス科（2 年制／男子・女子）<https://cupsnet.com/about/course/business>

スポーツビジネスの最前線で活躍する外部講師を招く「スポーツマネジメント論」や「アルビレックス新潟クラブ経営実践論」、国内・海外での研修会を通じ、スポーツビジネスの最新情報や最先端の事例を学ぶことができる。また、J リーグトップクラスの集客率、総合型地域スポーツクラブの実現しているアルビレックス新潟から、授業と実習を通して直接ノウハウを学ぶことができる。公式試合の運営やイベントの企画・運営、チームのマネジメントから、スポンサー獲得、広報活動、経理、財務、事務まで、クラブ運営に必要となる仕事全般を学び、多様性があり即戦力となる人材育成を目指す。アルビレックス新潟をはじめとし、J1・J2・J3・JFL・地域リーグなどの各クラブのほか、サッカーショップやスポーツショップ、フットサル場やスポーツ施設、出版社など多数のインターンシップを在学中に実施する。在学中の取得可能資格は、日本サッカー協会公認スポーツマネージャーGRADE2／日本サッカー協会公認 C 級コーチ／日本サッカー協会公認キッズリーダー／販売士／簿記／TOEIC／Word／Excel／PowerPoint など。

■ 専攻科（1 年制／男子・女子）

北信越フットボールリーグ（男子／女子）、天皇杯（男子）、皇后杯（女子）、全国社会人サッカー選手権大会（男子）など、全国で戦うチームにて大舞台でのプレーを経験することができる可能性がある。また、J リーグクラブとのトレーニングマッチや、2 部練習など、サッカーに集中した環境で強化育成し、サッカー専門知識・技術を学び、全国で戦えるプレーヤーを目指す。

■ サッカー総合・大学科（4 年制／男子・女子）<https://www.cupsnet.com/about/course/management>

1 年次に各学科の基礎となる講義・実習を行い、サッカーの総合的な知識を身につけたうえで、2 年進級時に専攻する学びを選択できるカリキュラム。サッカーに関わる仕事について広く知識を学び、自分に合ったサッカーの仕事を見つけます。【産業能率大学 通信教育課程 ビジネス教養コース】との併修で、卒業時には〈学士（マネジメント）〉の学位を取得することができ、「大卒以上」の要件がある求人にもチャレンジが可能となる。

3. 教職員 https://cupsnet.com/coaching_staff

■ 教職員数 常勤教員：25 名 常勤職員：6 名 非常勤教員：14 名 非常勤職員：5 名

日本サッカー協会公認 S 級コーチ／日本サッカー協会公認 A 級コーチジェネラル／日本サッカー協会公認 GK-A 級コーチ／日本サッカー協会公認 A 級コーチ U-12／日本サッカー協会公認 B 級コーチ／日本サッカー協会公認 GK-B 級コーチ／日本サッカー協会公認 C 級コーチ／日本サッカー協会公認 GK-C 級コーチ／日本サッカー協会公認キッズリーダー／FA コーチングライセンスレベル 1／日本サッカー協会公認 C 級コーチインストラクター／日本サッカー協会公認キッズリーダーインストラクター／日本サッカー協会公認 SMC サテライト講座インストラクター／日本サッカー協会公認スポーツマネジャー

Grade3／日本サッカー協会公認スポーツマネジャー Grade2／日本サッカー協会 1級審判員／サッカー2級審判インストラクター／サッカー3級審判インストラクター／日本体育協会公認アスレティックトレーナー／NSCA-CSCS／管理栄養士など

4. キャリア教育・実践的職業教育

- 実務経験のある教員等による授業科目一覧 <https://www.cupsnet.com/pdf/jyugyoukamoku.pdf>
- プロとの連携 <https://cupsnet.com/professional>

JAPAN サッカーカレッジは、J1 でトップクラスの観客動員数を誇るアルビレックス新潟の育成組織として活動しており、プレーヤーにとっては練習試合や練習参加を通してプロ契約のチャンスが広がり、コーチやトレーナー、クラブ運営を目指す学生もプロスタッフから直接指導や現場実習を経験することができる。

- インターンシップ <https://cupsnet.com/about/abroad>

在学中に様々な仕事を体験することで、より深く職業を理解することができ、JAPAN サッカーカレッジで習得した技術・知識・技能をプロの指導下で実践し評価を受けることで自身の能力向上に繋がるという考え方のもと、JAPAN サッカーカレッジではインターンシップをはじめとする実践的職業教育を積極的に取り入れている。アルビレックス新潟をはじめとする国内サッカークラブへのインターンシップのほか、学内選考をクリアすれば、アルビレックス新潟シンガポール（シンガポールリーグ）へのインターンシップが可能となる。「海外×プロ」という環境のもとで心身ともに鍛え上げ成長することができる。インターンシップを経て企業やクラブに採用された実績も多々ある。

5. 様々な教育活動・教育環境

- 教育活動 <https://cupsnet.com/professional>

アルビレックス新潟の育成組織（同一組織）として、その関係性を最大限に活用し、在学中にプロの仕事を体験しプロから直接学ぶことができる環境を整えている。サッカー業界では実践力が重要視されるため、このシステムのもと各分野で即戦力となる人材育成・輩出を目指す。また、JAPAN サッカーカレッジの「サッカーという素晴らしいスポーツを通しての人間力形成」という教育目標から、サッカーに関する専門教育のみならず、地域貢献活動や地域イベントへの参加などを実施し、コミュニケーション能力向上や、奉仕の心、感謝の心を養う教育も行っている。サッカー業界に限らず社会人として必要な一般常識・マナー・ビジネス能力といった教養科目についても教育している。

- 教育環境 <https://cupsnet.com/about/facilities>

JAPAN サッカーカレッジには、プロの施設にも匹敵するグラウンドやトレーニング機材、管理栄養士による食事メニュー、学生寮など、あらゆる面からレベルアップをサポートし、サッカーに集中するための環境が整えられている。学内施設のほか、アルビレックス新潟が活動拠点としている施設（アルビレッジ）を併用しているため、日常からプロの環境を体験することができる。その他、サッカーのオランダ代表やベルギー代表をはじめとする世界各国のサッカークラブが使用している分析ソフト「サッカーラボ」を日本のサッカークラブでは全国で初めて導入している。試合映像データをもとにゲーム分析や戦術の確認をコーチと選手間で共有することができ、タブレットやスマートフォンからもアクセスできるため、選手一人ひとりがプレーの課題や対戦相手の情報をいつでもどこでも確認することができる。選手だけなく、コーチやトレーナー、マネージャーも共有することができる。

6. 学生の生活支援

- 専用学生寮 <https://cupsnet.com/about/dormitory>

7. 学生納付金・修学支援

- 学生納付金 https://cupsnet.com/pdf/202206_nofukin.pdf
- 各種奨学金制度・各種教育ローン <https://mydreams.jp/scholarship/>

8. 学校の財務

- 貸借対照表 https://www.cupsnet.com/pdf/r5_clrp04.pdf
- 事業活動収支計算書類 https://www.cupsnet.com/pdf/r5_clrp06.pdf
- 財産目録 https://www.cupsnet.com/pdf/r5_clrp03.pdf
- 事業報告書 https://www.cupsnet.com/pdf/r5_clrp01.pdf
- 監査報告書 https://www.cupsnet.com/pdf/r5_clrp05.pdf

9. 学校評価

- 学校自己評価報告書 https://www.cupsnet.com/pdf/r6_01gh.pdf
- 学校関係者評価報告書 https://www.cupsnet.com/pdf/r5_01.pdf

10. 国際連携の状況

- <https://cupsnet.com/about/abroad>

11. 授業計画

- 授業計画書（シラバス） <https://www.cupsnet.com/pdf/gakusyuplan.pdf>

学生が、各授業科目の授業方法および授業内容ならびに1年間の授業計画をあらかじめ把握できるよう、各科目担当者が、各授業科目の詳細な授業計画を作成する。また成績評価基準についても客観性および厳格性を確保するため、授業計画を通して学生に対してその基準をあらかじめ明示する。

具体的には、科目名、担当教員名、実務授業の有無、対象学科、対象学年、開講時期、必修・選択、単位数、時間数、授業概要、目的、授業の進め方、学習目標（到達目標）、テキスト・教材・参考図書・その他資料、授業回数、各回の授業項目・内容、学習方法・準備学習、評価方法・成績評価基準、履修上の注意事項、実務経験教員の経歴（有・無）を明示した授業計画を作成する。

- 実務経験のある教員等による授業計画一覧 <https://www.cupsnet.com/pdf/jyugyoplan.pdf>

12. 授業科目の学修成果（成績評価）

- <https://www.cupsnet.com/pdf/learninggain.pdf>